



南面前庭は完全舗装 美しい枝ぶりの植樹

札幌東高同窓会報

昭和57年8月
第10号

札幌東高等学校同窓会



ごあいさつ

北海道札幌東高等学校
同窓会会長

松尾 静江

第十回同窓会会報発刊に当たり一
言ご挨拶申し上げます。

母校関係者にとりましては昭和
四十五年以来、長い間の懸案であ
りました「校舎改築」も、昨年十
二月五日には新校舎に於いて落成
記念式典、引続きロイヤルホテル
で祝賀会が盛大に挙行され、同窓
会からも役員多数が参加し喜びを
分ち合い、最後に残つております
のが、校舎前庭の舗装工事でござ
いました。改築事業に同窓会と
しても何かの役に立ちたいと、学
校側とも協議を重ねておりました
中で、具体的に浮び上つてしま
たのが、この工事費の負担のこと
でございました。昭和五十五年総
会に於いて会員各位のご承認を頂

きました。物質文明が先行し心の荒廃が問
われておりますが、青春の日々を
汗を流し泥にまみれて、スポーツ
に情熱をぶつけすることで心と体の
発育のバランスある教育がされる
のならと希つて、体育文化後援会
PTA 同窓会と三者合同で、校
庭に野球マシンを寄附させていた
だくことにしました。例年は八月
開催の学校祭が今年は七月上旬に
ありました。「同窓会の部屋」が
すっかり定着した感じで、二日間
一千五百本近いジュースのサービ
スを致しましたが、四時間程の間

き、特別積立金の中から昭和五十
六年四月学校に届けさせていた
きました。そして今春完了し新校
舎に相応しい、美しい環境の整備
がなされたことになります。併せ
て東高の校章はトド松の図柄です
ので、それに因んでトド松五本も
前庭に植樹しております。どうぞ
各位におかれましてはお近くへ、
或いは時間を作つて母校を訪ね、
同窓会ロードを踏みしめトド松の
成長をたのしみに眺めていたゞき
ます様この機会にご案内申し上げ
ます。

物質文明が先行し心の荒廃が問
われておりますが、青春の日々を
汗を流し泥にまみれて、スポーツ
に情熱をぶつけことで心と体の
発育のバランスある教育がされる
のならと希つて、体育文化後援会
の考え方を「クラスの仲間の心を」
偏に幹事の方々のご活躍にまたね
ばならないことでございます。「期
代弁しながら大きな連帯の輪をし
つかりついで下さることをひ
たすらご期待申し上げる次第でござ
ります。

終りに会員各位のご健勝をご祈
念申し上げております。



に品切れになる盛況で、制服の在
庫生が黒ずんだアルバムや資料を
熱心に読んでいる姿に、同窓の紹
介をしみじみ感ずることが出来てさ
わやかな二日間であったと役員達
は満足そうな顔で片づけをしてお
りました。この様に同窓会が会員
への助成等が積極的に出来る様に
なりましたのも、年会費或いは總
会剩余金など、会員各位のご理解
への協力の賜でありますことを
私共は充分心して受け止めさせて
戴き、それだけに多くの方々にご
納得いたゞける会務が執行出来る
様にと心を碎いております。尚最
後になりましたが、今回各期幹事
にご委嘱状を始めてお届けさせて
戴きました。快よくご承諾或いは
他の方のご推薦等のご配慮も戴き
有難く存じております。二万数千
名を数える同窓会になりました。

この大世帯を動かしてゆくものは、
わずかな人數の私共役員ではなく、
偏に幹事の方々のご活躍にまたね
ばならないことでございます。「期
代弁しながら大きな連帯の輪をし
つかりついで下さることをひ
たすらご期待申し上げる次第でござ
ります。

ご挨拶



名誉会長
札幌東高等学校校長

仲川翠

同窓会の皆様には、益々ご健勝の御事とお慶び申し上げます。

本校の礎が築かれてから、時の流れ、世の変遷と共に七十五年。この間、二万五千百余名に及ぶ卒業生を送り、各界各層で活躍されている方は枚挙にいとまがない程数多く、母校の栄誉をにない目ざましい活躍をしておられることは、誠に大きな誇りとするところであります。

東高は、「知」「徳」「体」の育成を踏まえ、創立以来の校訓である「克己自強」の精神を堅持し、校風のかなめとして受けつがれ輝かしい伝統を形成しております。

在校生諸君は、この恵まれた環境

の中で、教科学習、ホームルーム、学友会クラブ活動等に若いエネルギーを一杯発散させての学校生活を送っておりますが、これまで生成発展してきた歴史的現実を直視し、更にこれを飛躍発展させるにはどうしたらよいかを考えるのは、教職員、生徒の責務であります。

先輩が残された、伝統、遺産を噛みしめての理解の上に、生徒諸君の学校生活を通じて生徒自らが自己の将来を考え、果す役割を自覚し、自己の個性に応じ、能力や適性を充分生かしていけるだけの学力を身につけさせなければなりません。

そのため、学校では教育活動のあらゆる機会をとおして、組織的、継続的な指導に取組まなければならぬことを痛感いたしました。

今後共、同窓会の皆様の絶大なご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶いたします。

熱月「テルミドール」をテーマに新校舎で盛大に開催される

7月15日～18日

■第33回 東高祭



同窓会では17・18日の両日、同窓会室に歴史を物語る高女時代からのアルバムやパネル展示を行い、恒例のジュース無料サービス！も在校生に大受け。一般公開の18日は日曜でもあり、多くの入場者で賑わい、明治40年以来の永い伝統と変遷を偲び同窓会の役割などのPRに大きな効果をあげました。



光陰矢の如し

小山田昌康

(元東高校長)

私の札幌東高校在職は、昭和三十四年五月一日から、三十七年三月三十一日までの約三箇年でした。従つて私の時代の生徒諸君は、もう四十歳前後の、家庭人としても社会人としても最も充実した働き盛りを謳歌しておられる事でしよう。一方当

しましたが、昭和四十九年三月に完全隠退、札幌を永住の地と定め、骨を埋める墓地も里塚靈園に準備しました。現在天皇陛下と同年の満八十歳ですが、本年十二月には八十二歳になります。

振り返つて見ますと、生れつきあまり丈夫な方でもなかつた私であり、人並以上にいろいろな病気をも経験しながら、よくもこの年まで長生きできたものと聊か不思議な気もいたします。それにしても生きていることは矢張り有難いことに相違あります。

こんなわけですから札幌東高校時代の昔なつかしい思い出の数々もいつしか茫漠と色あせたものになつてしまつた感じですが、唯其の当時の先生も生徒も同窓の先輩もP.T.A.も誰もが温かく美しい人間関係で結ばれていた奥ゆかしくも珍しい学園で



光
陰
矢

之
ノ
文

文
化

前
刊

題
字

小山田先生

時の先生方は、その後高校長・大学教授・教育局長・教頭・事務長などなど、各方面で活躍せられ、北海道教育界を牛耳つて来られたわけですが、そのうち約半数の方々は、定年退職で第一線から退かれました。このような事実を見聞するにつけ、「光陰矢の如し」の感慨がひとしお身にしみる昨今です。

私は、札幌東高校を退職してから、月寒学院（現八紘学園）に三箇年、北海道栄養短大付属高校に九箇年、合わせて十二箇年間私学教育に従事

せん。これから後も、少しでも長生きできるよう用心するつもりです。

とはいえ長寿のための特別な健康法や、食生活や、信仰などとは一向無縁な私ですから、正直の所「心の欲

せん。これから後も、少しでも長生きできるよう用心するつもりです。

あつたことだけは生涯忘れない感激です。そうした感激を持つ私はもうすつかり過去の人間になってしまつたわけですが、札幌東高校同窓会は、時の流れを超えて永遠の生命を持つ人間関係です。先輩も後輩も、いつもまでも美しく温かい人間模様を織りなしつゝ、生々發展する同窓会であるようにと祈らずには居られません。

尚末筆失礼ですが、先年の老生叙勲の際にお寄せ下さった御好意に対し厚く御礼申し上げます。

だより

函館支部

又、長年の願いであつた支部同窓会報を年に二、三回発刊することになりました、幹事の方々の御努力により、七月四日、創刊号が出来上りました。同大喜びです。会報には、詩吟の師範としての毎日、その蔭の苦心談やら、或いは昔懐しい寄宿舎生活の思い出、そして失敗談等、どれも、これも、会員から寄せられた心柔らかい記事で一ぱいです。この会報を中心として、支部会員相互の団結が一層深まり、同窓会がますます発展いたしますよう心からお祈り致します。

遠く離れたこの函館の地で、先輩が深い友情と固いきずなによって結ばれておりますこと、何よりうれしく御報告に代えさせて頂きます。

●事務局（会長宅）矢野滋子（高女23）
函館市元町一一番十号

追憶は限りなく・・・・・

杉 原 操

皆様こんにちは

昭和二十年三月、北海道から岡山へ帰つて以来三十八年の歳月が流れ、世の中はすっかり変つてしましました。しかし、私の裡にある北海道は昔のまゝ少しも変らず、

愉しかつた私の青春時代の、札幌市立高女を容易に再現してくれます。

中島公園に隣接した想い出多い校舎。皆さんについて行つて、ゲレンデに大きな穴ばかりあけたスキー練習。美しいお花畠で休憩した大雪山登山、赤蜻蛉の群れとぶ

豊平川畔での日光浴。桑園のじやが芋掘り。見渡す限り地平線の、

丘珠飛行場の玉葱収穫、援農に宿泊ででかけ、早朝に起きだして、星を仰ぎながら、大きな大きなお釜で炊いたご飯やかぼちゃ等々。追憶は限りなく拡がります。札幌時代のアルバムを開くと、一人一人のイメージがはつきり浮び、話

し方や動作まで昨日のことのよう

に思われ、胸がキュッと締めつけられます。あの頃の市立高女の生徒さんは、皆可愛らしく、素直で、

しつかり者で、私の方が教えられ

ることが多かつたように思います。あの頃の先生方もどうしていら

つしやるでしょうね。遠い日の職業になり、呆れるほど記憶力が悪くなりました。昨年四月思いき

つて、老化現象に挑戦するつもり

で、自動車の教習所に通い、若い人と一緒に勉強して免許をとり、今では車で町まで買物に出かけ、大変重宝して

終りに、皆様のご健康とご多幸をお祈りしつゝ、ベンをおきます。



719-11〒

先生は只今、

岡山県都窪郡
山手村 西郡

にお住まいです。

員室の風景が瞼に浮び、もう一度お目にかかるたらいなと思いま

す。札幌市立高女での四年間は私の生涯にとつて非常に印象深く、鮮明な映像で迫ります。そして何時までもこうしてお声をかけて下さる松尾様はじめ、皆様の温かいお心に深く感謝すると共に、傍せを感じます。

自分では何時までも若いつもりでいるのですが、老人と云われる年令になり、呆れるほど記憶力が悪くなりました。昨年四月思いき

つて、老化現象に挑戦するつもり

で、自動車の教習所に通い、若い

人と一緒に勉強して免許をとり、今では車で町まで買物に出かけ、大変重宝して

おります。

終りに、皆様のご健康とご多幸をお祈りしつゝ、ベンをおきます。

同窓会事務局から

◎ 同窓会に助成金

より多くの呼びかけで、親睦の和をさらにひろげる同期会への助成金制度です。どしどしご利用ください。

はじめての同期会開催には：三万円・次回以降の同期会開催には：一万円

△申込みはハガキで事務局へ。

期名・代表者名(フリガナつき)と電話番号・振込銀行と口座番号・開催日時と会場を記入の上お申込ください。銀行振込制です。

◎ 住所などの変更はハガキで住所・電話・勤務先などを変更された会員は、事務局へハガキでお知らせください。

◎ 年会費について年会費(五百円)は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。

会員各位の特段のご協力をお願ひいたします。

☆送金振込先 拓銀／苗穂支店 普通預金No 275020
札幌東高校同窓会 ☎ 831-16332

◎ 同好会に参加を

ゴルフ、麻雀、テニス、ほか同好の会員による懇親の集まりにふるつて参加しませんか。今年は麻雀とゴルフの同好会が開かれました。ほか企画やご希望をお寄せください。お問合せは、総務担当東3期山中 ☎ 361-5021迄。
△会報の送付を希望される方や、同好会、その他ご意見などご遠慮なく、事務局までお寄せください。

札幌東高同窓会事務局

003 札幌市白石区菊水9条3丁目
(札幌東高校内)

6332 皆田 柳原先生

昔のテニス仲間のこと

高女二期

石田アイ

会報51年8月号に同期会の近況を載せましたので今回は旧テニス仲間の事を書かせて戴きます。

市立高女2回生といつてもピンと来ないと思いますが、大正13年の卒業で来年は卒業60年を迎えます。從つて明治末期の生れだと言うことで、骨っぽく粘り強く、且つ責任感の強い人間共で、校訓の質実剛健、



袖を仕上げた人もいます。
大正12年 後藤嘉之校長(五代目)
の時代になって校内に色々の刷新がありました。学力の向上と体育の向上に重点を置いていましたが、先ず放課後に課外学習をする(今のクラブ活動の元祖かと思います)一人二科目の自由選択、一教科90分授業、英語、数学、書道、図工、体育、被服、古文、籠球、排球、陸上、卓球、軟庭、スキーや英語と軟庭を希望し、職員会議のない日は五時迄、土曜日は六時迄お互い真黒になつてテニスをしました。全道大会の創始が大正12年。最初のこ

教育課程で二学期の終りには教育実習で、豊水小学校で教生実習が三週間行われ、実習報告が成績の一部に加えられました。二部は家政科と称し、被服の時間数が一部の三倍もありましたから卒業の時には自分の留袖を仕上げた人もあります。

大正12年 後藤嘉之校長(五代目)

昨日の様な気がします。然しその翌年高3期、4期が二年連続の優勝で泣き通して現在でもあの車中の様が喜び合つたのを忘れ得ません。

私は卒業後市立高女OGで出場していました。卒業後適令期を迎えて、それぞれ結婚し家庭を築きました。

私は昭和三年結婚し子供四人孫五人にヒコ達五人です。仲間は卒業と同時にラケットを温めましたが、私一人だけは結婚後も時間をさいてはテニスを続け、テニスの仲間を拡げる意味で、或る時は後輩の指導に、又招かれでは地方にもでたり、昭和10年に札幌女子クラブを創設し、テニスの輪を拡げてきました。

お蔭様で昨年12月6日「日本軟式

庭球協会」から栄誉ある全国表彰を

いたとき感激いたしました。又2月

27日、私の授賞祝賀会には、母校同

度、その頃は一般女子も女学生もいこうも無く素直に受け止めた生徒達でした。木綿の元禄袖に、白タビ。夏は木綿の白地と質素で清潔でした。大正九年百五十名の入学で三組編成甲乙丙組で毎年編成替えがありました。本科生は四年で卒業し、その上に希望する者は補習科が設置されていました。一部が師範科で、主に教育課程で二学期の終りには教育実習で、豊水小学校で教生実習が三週間行われ、実習報告が成績の一部に加えられました。二部は家政科と称し、被服の時間数が一部の三倍もありましたから卒業の時には自分の留袖を仕上げた人もあります。

大正12年 後藤嘉之校長(五代目)
の時代になって校内に色々の刷新がありました。学力の向上と体育の向上に重点を置いていましたが、先ず放課後に課外学習をする(今のクラブ活動の元祖かと思います)一人二科目の自由選択、一教科90分授業、英語、数学、書道、図工、体育、被服、古文、籠球、排球、陸上、卓球、軟庭、スキーや英語と軟庭を希望し、職員会議のない日は五時迄、土曜日は六時迄お互い真黒になつてテニスをしました。全道大会の創始が大正12年。最初のこ

窓会会長を始め役員の方々、庭球関係の方、同期の方々と、国際ホテル

共の学年が最上級生で、前年小樽軍に完敗したことであつて部長の森田先生、大野先生は大張り切り。私共八名の選手は夏休みを返上して特訓に特訓を重ね猛練習の連続でした。

今年は勝算大なりと思つたものの相変わらず強く、決勝で小樽勢に僅差で負け、遂に在学中に優勝出来ませんでした。小樽から札幌に着く迄車中で泣き通して現在でもあの車中の様が喜び合つたのを忘れ得ません。

私は卒業後市立高女OGで出場していました。卒業後適令期を迎えて、それぞれ結婚し家庭を築きました。

テニスで固く結ばれた仲間同志ですから何處で開催しようとも皆ススメと馳せ参じます。今年は和歌山県

の白浜温泉、勝浦、京都と四泊五日の行程でした。皆開けっぴろげで何のこだわりもなくホントに楽しい旅でした。一同私の表彰を心から祝って乾杯下さった時、涙で挨拶の声が出ませんでした。祝賀会にも昔の仲間を札の二名が出席下さったこと、生涯忘れないでしょ。ホントに私は幸せ者よと深謝しています。来年は道内観光と決定され、函館在住の山口千代己さんが幹事です。来年を約束して京都で別れ、家路に向かいました。

この写真は57・5・12 千疊敷で撮つたものです。

角江さん撮影

昭和56年度

東高同窓会 会務報告

昭和56年度の主な会務を報告致します。

一、昭和56年度総会及び懇親会

昭和56年度総会は、会員約五百四十名が出席し、八月二十二日、札幌パークホテルで開催され、55年度会務及び決算、56年度事業計画及び予算案を審議し、執行部提出の原案通り可決されました。また、任期満了に伴う役員改選を行い、会則の定めに従い、松尾静江会長以下、副会長五名、幹事長一名、副幹事長七名及び監査役二名を選出致しました。

二、常任幹事会及び幹事会

56年度の常任幹事会は、一月二十六日及び六月八日に開催し、56年度総会において議決された案件の適正な施行を図るためにの処置、幹事会及び総会に提出する議案等を協議致しました。また幹事会は、七月六日に開催し、56年度の会務の施行状況と決算、57年度の事業計画と予算案等を審議・議決し、総会開催に必要な処置を行い、渡辺副幹事長の後任に高橋正（東高10期）氏を選出致しました。

五、母校関係諸事業

校舎落成記念式典及び祝賀会が十二月五日に挙行され、本会からも役員が出席して新校舎の落成をお祝い致しました。また、56年度総会で承認された校舎改築に伴う寄付金により、校舎の歩道及び駐車場の舗装が今春完成し、六月十日には記念植樹を行いました。

三、同窓会入会式

第32回卒業生の同窓会入会式は、学長及び関係教職員の列席を得て、三月九日に執り行いました。新会員歓迎の挨拶に引き続い、新幹事への依頼の授与、記念品の贈呈が行われ、幹事の代表から、本会への抱負が述べられて会を開きました。

四、支部・同期会・同好会への助成

会員相互の親睦を一層図るために、本年も、支部や同期会、同好会に対する助成に努めて参りました。同好会活動に対する予定では、三月二十七日に開催されたマージヤン同好会、七月九日のゴルフ同好会にそれぞれ助成を行いました。

1、総会・幹事会・常任幹事会及び同窓会入会式の適正な運営

2、支部・同期会・同好会活動に対する効果的な助成

3、会報の発行及び会員名簿の整備

4、母校の学校祭や体育・文化活動などを対する効果的な援助

5、そのほか、会員の親睦及び母校の発展にかかる事業への適切な処置

そのほか、学校祭に際して同窓会コーナーを例年通り開設し、学友会誌「東」への補助を行い、野球部のピッチングマシンの購入助成を行うなど、母校の発展にかかる事業について適正な処置に努めました。

六、その他

幹事名簿や会員名簿の整備のための必要な処置について現在検討中で、近い将来の名簿の発行に向けて努力致しております。

昭和57年度 事業計画



S 57. 7. 9(金)第1回コンペ参加の面々

GOLF 同好会

83'57同窓会コンペ

第1回

● 第2回コンペを9月中開催予定！	多數の参加を期待します！
▼ 実行委員長	
561	5021山中（東3）
猛打賞	今野谷（東7）
ニヤビン賞	見島・大黒
ドラコン賞	助貞・笹島（東13）
ブービー賞	長谷川（東8）
敬老賞	赤塚前校長
ラッキー賞	山中（東3）
5位 助貞（東13）	3位 朝妻（東8）
1位 大黒（東8）	2位 氏家（東1）
3位 朝妻（東8）	4位 佐伯（東6）

昭和56年度決算書並びに昭和57年度予算案

昭和56年度決算書	前年度繰越額	1,401,964円
取入の部	2,146,704円	
支出の部	2,327,855円	
次年度繰越額	1,220,813円	

昭和57年度予算案	前年度繰越額	1,220,813円
収入の部	1,379,187円	
支出の部	2,600,000円	
差引残高	0円	

科 目		摘 要	決 算 額	単位/円
収 入 の 部	前 年 度 繰 越 金		1,401,964	
	新 入 会 員 会 費	450名×1,500円	675,000	1,220,813
	年 会 費	884名×500円	442,000	667,500
	雑 収 入	総会剩余金・預金利息	1,029,704	450,000
	計		3,548,668	261,687
支 出 の 部	事 務 手 当	事務局手当及交通費	150,000	2,600,000
	事 務 用 品 費	ゴム印・用紙代	29,880	180,000
	印 刷 費	委嘱状印刷	52,100	50,000
	通 信 費	郵便料	78,940	40,000
	旅 費 交 通 費		0	100,000
	慶弔 費	献花・香典	88,130	150,000
	会 議 費	幹事会等会場費	190,855	90,000
	総 会 関 係 費	総会準備金	364,300	250,000
	会 報 発 行 費	会報9号発行	230,600	300,000
	学 校 祭 関 係 費	校舎落成式助成 学校祭参加	202,400	240,000
の 部	同 期 会 等 助 成 費	支部及同期会助成金	155,600	200,000
	新 会 員 関 係 費	記念品贈呈	209,600	300,000
	体 育 文 化 助 成 金	在校生助成	150,000	240,000
	特 別 会 計 積 立 金	特別会計へ繰入れ	300,000	300,000
	雑 費	同窓会紹介広告料	50,000	0
	予 備 費	校舎新築記念植樹	75,450	50,000
	計		2,327,855	110,000
部	前 年 度 繰 越 金			
	新 入 会 員 会 費	445名×1,500円		
	年 会 費	900名×500円		
	雑 収 入	預金利息ほか		
	計			

■特別会計積立金(信託預入)

[収入の部]

繰越金 1,856,857円 前年度繰越

繰入金 300,000円 一般会計より繰入金

取益配当金 163,411円 貸付信託収益配当 111,888円

金錢信託収益配当 51,523円

計 2,320,268円

〔支出の部〕

04

収入額 2,320,268円 - 支出額 0円 = 2,320,268円 (翌年度繰越)

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話 811-1919)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名譽役員をおく。
1. 名譽会長 1名 現母校校長
1. 名譽顧問 若干名 旧母校校長全員
- 第5条 本会に次の役員をおく。
1. 顧 問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
1. 相 談 役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
1. 会 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 副 会 長 5名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 幹 事 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 副幹事長 7名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
1. 常任幹事 若干名 正会員より幹事会で選出した者
1. 幹 事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は幹事の
互選により各期4名以上を選出する。
- 第6条 役員の任期は次のとおりとする。
1. 会長・副会長・幹事長・副幹事長 3年
1. 常任幹事及び監査役 3年 但し再選を妨げない。
1. 幹事 3年 但し再選を妨げない。
- 第7条 役員の任務は次のとおりとする。
1. 会 長 会務を総括し本会を代表する。
1. 副 会 長 会長を補佐し会長事故あるときはその任務を代行する。
1. 幹 事 長 常任幹事の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会を主宰する。
1. 副幹事長 幹事長を補佐し幹事長事故あるときはその任務を代行する。
1. 常任幹事 総務・広報・会計・母校担当の任務を分掌し会の企画運営に当たる。
1. 幹 事 会員間の連絡にあたり常任幹事を補佐する。
1. 監 査 役 会計業務を監査し会計の正常な運営を計る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
1. 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開く。但し常任幹事会が必要と認めたとき
は臨時総会を開くことができる。
1. 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で常任幹事会の諮問事項を協議し会の運営を協議、議決する。
1. 常任幹事会 本会の執行機関で会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議し会の運営にあたる。

第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
1. 総会の開催
1. 会誌の発行
1. 母校発展のための事業。
1. その他常任幹事会で必要と認めた事業。

第4章 会 計

- 第10条 本会の会員は正会員の会費及び寄附金をもってこれにあてる。
1. 会費は入会と同時に1,000円、年会費として1ヵ年500円を納入する。
1. 寄附金の運用は常任幹事会で協議する。
- 第11条 会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。
- 第12条 会計年度終了時に定期監査を受け、その結果を総会で全員に公示する。又正会員の要求があり監査
役が必要と認めたときは臨時監査を受けなければならない。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は幹事まで連絡しな
ければならない。
- 第14条 会則の変更は総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。
- 第15条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。
- 一部改正(顧問制定・幹事・常任幹事・及び監査役の任期) 昭和49年8月23日より施行する。
一部改正(年会費) 昭和50年8月25日より施行する。
一部改正(副会長・副幹事長の定数) 副会長5名・副幹事長7名 昭和51年8月25日より施行する。
一部改正(入会費の金額) 1,000円 昭和52年7月17日より施行する。
一部改正(常任幹事の任務・会計年度) 総務・広報・会計・母校担当、7月1日より翌年6月30日
まで 昭和56年8月22日より施行。

役 職	氏 名	卒業期	住 所	電 話	勤 務 先	電 話
顧 問	芦野 トシ	職業 9				
相 談 役	石田 アイ	高女 2				
会 長	松尾 静江	高女22				
副 会 長	母 小野寺チズ	高女16				
"	総 伊坂 郁子	高女23				
"	広 大川智恵子	高女24				
"	総 吉中新太郎	東高 1				
"	計 吉原 宏	東高 6				
幹 事 長	塩川 信	東高 2				
副幹事長	総 中村瞳三四	高女21				
"	計 柴田 陽子	高女23				
"	総 山中 一夫	東高 3				
"	計 大黒 正芳	東高 8				
"	母 高橋 正	東高10				
"	広 岩城 弘侑	東高11				
"	母・総 小山 国夫	東高12				
監 査 役	山崎 久美	高女 6				
"	秦 泰子	高女24				
常任幹事	総 鹿内 キヨ	高女 3				
"	広 長尾 貞子	高女 4				
"	母 菅原 三枝	高女15				
"	母 佐野 セツ	高女18				
"	総 坂東 信子	高女22				
"	計 清水 瞳子	高女25				
"	母 横田佐和子	高女26				
"	総 佐藤 一郎	東高 1				
"	総 吉川 昌利	東高 2				
"	計 高木 美子	東高 3				
"	母 高木 緩子	東高 4				
"	総 久末 祐輔	東高 5				
"	母 鈴木 敬夫	東高 7				
"	母 遠藤 安倫	東高 8				
"	広 陣内 幸則	東高 9				
"	総 後藤 広治	東高11				
"	母 佐々木信義	東高12				
"	広 助貞 英一	東高13				
"	計 林 豊	東高14				

同窓生にとって現在の東高の様子を知る機会に仲々恵まれません。そこでことしの東高だよりから抜下さいして、母校の模様を紹介します。

周辺に、おんこ、山かえで、えぞ松を各五十本づつ植樹。各クラスごとの水やりもかかさず、すべてに新芽が芽吹き、二十年、三十年後が楽しみな体験学習でした。また、元校長の福井源七郎先生が丹精されたおんこが寄贈され、緑の樹々に彩られた、素晴らしい環境が想像されます。

「東高だより」から

★仲川学校長4月1日着任

本年三月三十一日をもつて、母校の学校長であられた赤塚利國前校長が勇退され、四月から仲川 翠校長が着任されました。着任のことばとして、信頼と理解の上にたち、本年度の重点目標として

一、進路志望の達成をめざし学力の向上を図る

一、頑張りの利くたくましい気力体力の増進を図る

一、より望ましい社会人をめざし基本的な生活習慣の確立を図る

以上の三点をあげられました。

★学友会会长に浅沼武敏君

六月十九日、立候補者の立合演説会が行われ、二年六組浅沼武敏君が新学友会会長に選ばれました。誠実な人柄で若いエネルギーを燃やしています。

★全校生徒で百五十本の植樹

五月中旬、各年ごとにグラウンドの

「進路のしおり」から

今年度卒業生の進学状況

	北海道大学	北海道教育大学	室蘭工業大学
男	65(31)	34(24)	19(4)
女	6(3)	19(4)	53名
計	31(8)	2(0)	33名

■硬式庭球全道大会：三回戦で惜敗
六月十六・七日、平岸高台コートで開催され、女子ダブルスに三年奈良みゆき、二年森野仁美組が出場、三回戦で惜しくも清田高校に敗退しました。

■見学旅行（二年生）
学年を二班に分け、九月二十・二十一日から五泊六日の日程で実施されました。奈良一泊、京都二泊する古都見学のほか、ホームルーム別の自主見学コースを設定、自主的活動の促進が特色。

• 視力：0.9以下が875名（65%）
• むし歯：無い者21名（1.6%）
• 処置完了者226名（11.8%）

★定期健診から

■私立大学進学者数

	男	女	計
北海学園大学	89(49)	10(7)	99名
札幌大学	3(2)	1(0)	4名
北海道工業大学	6(0)	1(0)	7名
北海道薬科大学	1(0)	1(0)	2名
東日本学園大学	1(1)	1名	
藤女子大学	4(1)	4名	
北星学園大学	4(3)	3(1)	7名
札幌商科大学	1(1)	1名	
酪農学園大学	1(1)	1名	
千葉工業大学	2(1)	2名	
青山学院大学	1(1)	1名	
慶應大学	2(1)	2名	
芝浦工業大学	2(0)	1(1)	3名
専修大学	2(0)	1(1)	2名
東海大学	4(4)	3名	
東京経済大学	3(3)	4名	
東京理科大学	3(3)	4名	
日本大学	3(2)	1(1)	2名
日本体育大学	1(0)	1名	
明治大学	7(5)	2(0)	9名
法政大学	1(0)	1名	
早稲田大学	1(1)	1名	
神奈川大学	1(1)	2名	4名
合計	9(2)	4(0)	20名
	164(31)	16(0)	20名
	173名		

あとがき

今年度の会報をお届けします。この会報にご寄稿下さいました方々にあらためてお礼申します。

●会報ご希望の方は、東11期岩城広報担当 0120-0797へお申出ください。